

議 決 事 項

議案第1号 令和2年度（2020年度）変更事業実施計画及び補正予算案 について	P1～
--	-----

議案第1号

令和2年度（2020年度）変更事業実施計画案及び補正予算案
について

令和2年度（2020年度）変更事業実施計画案及び補正予算案について、規約第17条の規定により本総会の議決を求める。

<提案理由>

令和2年7月豪雨災害の復旧復興に係る熊本県補助事業「被災地域産業再興支援事業費補助金」の交付決定を受けたこと、豪雨災害及びコロナ禍での熊本県補助事業「くまもつと観光地域応援社発展事業費補助金」の実施が困難になったことにより、事業実施計画の変更及び補正予算が必要となったため。

被災地域産業再興支援事業 40,000千円の増額

水俣・芦北観光応援社事業 3,000千円の減額

令和2年(2020年)11月4日

水俣・芦北地域雇用創造協議会

会長 江藤 公俊

令和2年度（2020年度）変更事業実施計画及び補正予算案について

1 目的

環境と経済の好循環を実現し、「地域の活力と新しい豊かさ」を生み出す地域社会づくり」を基本理念に掲げ、第一の目標を「高い付加価値を生む産業づくり」として、安定した就業と所得、仕事のやりがいを持てる地域産業を目指すため、蓄積された環境産業や稼げる農林水産業、美しい自然や食を体験する観光など、地域の特性を生かしながら産業の付加価値を高める施策を推進する。

については、地域経済や雇用面で重要な役割を担う中小企業、とりわけ小規模企業へ焦点を当て、ニーズに対応した総合的な支援に取り組むこととし、当協議会を中心に、地域一体となって第一次産業の振興、6次産業化、観光振興、企業誘致等、総合的な産業振興に取り組む。

令和2年度（2020年度）は、引き続き、環境配慮型農業の推進、和紅茶、マガキ、林産材等のブランド力の強化、観光素材の磨き上げ等を図るとともに、地域産品等の展示・商談会への出展により商談機会の創出・販路拡大支援を行う。

ただし、新型コロナウイルスを想定した新しい生活様式や消費者の消費行動の変化等を踏まえ、特に販路開拓や海外展開に係る取組みについては、状況を見極めながら柔軟に対応する。

また、令和2年7月豪雨災害により、被災した事業者の当面の収益確保や地域産業一体となった賑わい創出など、地域産業全体の再興に向けた取組みを行う。

2 事業内容

(1) 環境配慮型農業推進事業

農薬や肥料に頼らない（配慮した）環境配慮型の農業を地域全体で実践するため、生産者向けの栽培技術講習会を開催するとともに、当地域に点在する狭小農地でも持続可能な環境配慮型農産物の実証栽培と販路開拓・情報発信を併せて行うことで環境首都にふさわしい食と農の地域ブランドを確立する。

[具体的な取組]

○農産物実証栽培の推進

- ・アボカド栽培技術専門家による訪問技術指導
- ・アボカドの実証栽培及び苗木生産・販売システムの構築
- ・環境配慮型農業（無肥料、無農薬栽培）実践塾の開催
- ・瀬戸石ダム底泥を活用した新たな環境配慮型農業の検証

○中山間地域における狭小農地営農モデルの確立

- ・狭小農地を活用した営農モデルを確立するための環境配慮型の高付加価値農産物の実証栽培及び販路拡大事業の実施
- ・加速度的に高齢化が進んでいる中山間地域のJAあしきた等と連携した集出荷システムモデルの確立

(2) 異業種間連携・販路開拓支援事業

当地域の優れた地域資源を活用して、食や健康といった分野において、資源の持つ成分、加工技術、保存技術、地域の伝統文化といったものを活用して、農商工連携等による付加価値の高い商品開発を行うとともに、パッケージデザインや販売戦略の検討、新たな販路の開拓を行い、新産業の創出による雇用創造を図る。

[具体的な取組]

- 展示商談会・都市圏物産展等への出展
 - ・食に関する商談会、都市圏物産展への出展支援
(スーパーマーケット・トレードショーなど)
 - ・大都市圏向けインターネット等によるテスト販売
- 和紅茶のブランディング
 - ・アドバイザー派遣
 - ・香気成分の分析等による和紅茶商品の磨き上げ
- 地域産品を活用した新商品開発
 - ・地域産品を活用した新商品の開発支援
- 地域産品のブランディング・販路開拓
 - ・地域産品の大都市圏・海外の販路開拓に向けた商品の磨き上げ・販売支援
 - ・地域産品の情報発信・サンプル提供
- 水俣・芦北地域雇用創造協議会サテライトオフィスの開設（旧計石小学校）
 - ・芦北サテライトオフィス計石を活用した事業者マッチング等

(3) 水産物ブランド化支援事業

水産物のブランド化並びにマガキの養殖支援を実施し、地域資源の新たな特産化を図る。併せて、活魚、鮮魚及び水産加工品等の販売を強化するため、地域内の加工所及び直売所と連携して、水産物のブランド化を推進する。

[具体的な取組]

- 水産資源ブランディング
 - ・アドバイザー派遣
- マガキ養殖・販売の支援
 - ・マガキ稚貝購入・貝毒検査の支援
 - ・カキ小屋PR広告・宣伝、県内飲食店等への営業活動
- 水産物直売所、加工所等における加工品等の開発支援
 - ・直売所で提供する飲食メニューの開発支援
 - ・加工所で製造する加工品の試作試験

(4) 水俣・芦北観光応援社事業（くまもっと観光地域応援社事業）

地域資源を生かした着地型旅行商品を充実させるため、素材の発掘、旅行商品化や情報発信を効果的に行い、地域観光の受け皿となり、交流人口を最大化させることで産業振興と雇用確保を図ることを目的に、「くまもっと観光地域応援社」として昨年4

月に登録された（名称「水俣・芦北観光応援社」）。当地域の素材を「磨き・繋ぎ・発信」することで産業の振興を図る。

[具体的な取組]

- 旅行商品化支援（くまもつと観光地域応援社発展事業費補助金 3,000 千円の減）
 - ・素材の商品化
 - ・旅行会社への営業活動等
- インバウンド誘客
 - ・FIT向け旅行商品の開発支援
 - ・旅行会社等への営業活動
- 情報発信
 - ・情報誌等への地域観光情報掲載

（５）地元林産材活用推進事業

地元林産材を積極的に活用して林家及び製材所等の所得向上を目的に、海外販路開拓、地域林産材を利用した雑貨等の商品化により、森林環境保全活動を通じた林業振興を図る。

[具体的な取組]

- 「和室」の輸出促進
 - ・現地商談、現場視察等の支援
 - ・展示会出展支援
- 商品開発
 - ・木材を活用した商品開発・サンプル制作支援

（６）人材育成事業

地域内外の関係者と連携した創意工夫による人材育成、就職支援等による雇用創出を図る。

[具体的な取組]

- 研修・セミナーの開催及び受講料の一部助成
 - ・求職者向けセミナーの実施
 - ・研修受講料の一部助成（技能後継者・福祉医療関係）
- 高校生の就職支援
 - ・地域企業による企業説明会の実施
 - ・就職模擬面接会の実施
 - ・地域企業見学会の実施
- ガストロノミーマネジメントの推進
 - ・大学等と連携した出前授業の実施及びフィールドワーク受入等
- 事務局経費
 - ・会計年度任用職員人件費
 - ・事務局運営

(7) 企業誘致

県内で最も高齢化が進んでいる当地域において、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたり地域の活力を維持していくことが喫緊の課題である。そのような中、雇用創出と新しい人の流れを創ることを目的に企業誘致、とりわけ水俣・芦北地域でも立地可能性が高いIT企業・サテライトオフィスを誘致する。

[具体的な取組]

○水俣・芦北地域におけるIT企業・サテライトオフィスの誘致

○水俣・芦北地域雇用創造協議会サテライトオフィスの開設（旧計石小学校）再掲

(8) 被災地域産業再興支援事業（40,000千円の増）

新型コロナウイルス感染症による影響に加え、令和2年7月豪雨により被災した芦北・水俣地域においては、「地域産業」、「まち」そのものが失われかねない危機に直面していることから、当面の収益確保や地域産業一体となった賑わい創出など、地域産業全体の再興を総合的に後押しする。

熊本県8月専決予算を活用

[具体的な取組]

○生産者・加工業者支援

・新たな商品・販売方法の開発

・ECサイトを活用した地域製品の販路拡大

・熊本都市圏に向けた地域製品の販売促進

○物産館・道の駅支援

・水俣・芦北地域の復興に向けた情報発信業務

・物産館を活用した地域製品送料無料キャンペーン

○飲食店支援

・飲食店の営業再開に向けた新メニュー開発

・「芦北伽哩街道」参加店舗による新商品開発

・復興イベント開催に向けた新たな飲食スペース・移動販売に伴う新メニュー開発

・「放課後ていぼう日誌」に関連した新メニュー開発

○旅館業支援

・キッチンカー等を活用した地域食材PR

令和2年度（2020年度）水俣・芦北地域雇用創造協議会補正予算案

（単位：千円）

<収入>

経費区分	内 容	R2年度 現計予算額	今回補正額	補正後予算額
1 負担金	県	58,684		58,684
	水俣市、芦北町、津奈木町	1,500		1,500
2 補助金	県（くまもつと観光地域応援社発展事業費補助金）	3,000	△ 3,000	0
	県（被災地域産業再興支援事業費補助金）		40,000	40,000
3 繰越金		1,752		1,752
4 諸収入	預金利子	1		1
収入計		64,937	37,000	101,937

<支出>

経費区分	内 容	R2年度 当初予算額	今回補正額	補正後予算額
事業費		64,936	37,000	101,936
1 環境配慮型農業 推進事業	・農産物実証栽培の推進 ・狭小農地営農モデルの確立	10,000		10,000
2 異業種間連携・ 販路開拓支援事業	・商談会・都市圏物産展への出展 ・和紅茶のブランディング ・地域産品を活用した新商品開発 ・地域産品のブランディング・販路開拓	21,794		21,794
3 水産物ブランド化 支援事業	・水産資源ブランディング ・加工品等試作試験 ・マガキ養殖・販売の支援	6,000		6,000
4 水俣・芦北観光 応援社事業 (くまもつと観光 地域応援社事業)	・旅行商品化支援 (素材の商品化、営業活動等) ・インバウンド誘客 ・情報発信	11,000	△ 3,000	8,000
5 地元林産材活用 推進事業	・「和室」の輸出促進 ・地元林産材を活用した商品開発	4,000		4,000
6 人材育成事業	・セミナー等の開催・受講料の一部助成 ・高校生の就職支援 ・ガストロノミーマネジメントの推進 ・事務局費	12,142		12,142
7 被災地域産業再興 支援事業	・生産者・加工業者支援 ・物産館・道の駅支援 ・飲食店支援 ・旅館業支援		40,000	40,000
予備費		1		1
支出計		64,937	37,000	101,937